

## 臨床研究に関する公開情報

平成 30 年 9 月 25 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者様に新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

研究課題名：「静脈血栓塞栓症に対する新規経口抗凝固薬（第 Xa 因子阻害薬）の有用性に関する検討」

研究期間：2015 年 7 月から 2019 年 3 月までを予定しています。

対象：2015 年 7 月以降に兵庫県立尼崎総合医療センターにて静脈血栓塞栓症に対して新規経口抗凝固薬（第 Xa 因子阻害薬）を処方した患者様。

研究目的：肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症を合わせて静脈血栓塞栓症と総称します。静脈血栓塞栓症の治療は、従来はヘパリン点滴とワーファリン内服しか使用できず、長期入院や出血性合併症が問題となっていました。近年、新規経口抗凝固薬（第 Xa 因子阻害薬）が使用可能となり、入院期間短縮や出血リスクの低減が期待されています。今回の研究目的は、当院での新規経口抗凝固薬の使用状況と有用性を検討することです。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、体重、基礎疾患、血液検査結果、内服薬、病変情報などがあります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：研究責任者：西本 裕二

兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科  
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77  
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001  
E-mail：yuji.nishimoto@gmail.com